

令和元年度事業報告

- 1 「将来構想～今後 10 年の展望～」(平成 24 年度策定)の基本方針に基づき、この将来構想の実現に向けての重点項目である「競技力の向上、スポーツの普及、組織力強化、財政基盤強化、県立スポーツ施設整備の要望」について、本会加盟団体を始め、新潟県並びに関係機関・団体等との連携強化・協働を着実に促進した。

また、「新潟県スポーツ推進プラン」の実現に向け着実に推進した。

- 2 本県から来年 7 月に開幕変更となった 2020 年の東京オリンピックに出場し活躍する選手の輩出に向け、新潟県、市町村、企業、競技団体等と連携しながら選手の発掘・育成等を推進し、新潟県の競技水準の向上とスポーツの普及・振興を図るとともに、関係機関・団体と連携し、開催に向けてのプロジェクト・イベント等の推進に協力した。

また、障がい者スポーツの普及・振興に寄与するため、関係団体等との連携を図った。

- 3 地域全体が主体的に連携・協働してスポーツを推進する仕組みづくりをより充実するため、新潟県広域スポーツセンター事業を中心とした総合型地域スポーツクラブの充実とスポーツによる地域活性化の促進を図るとともに、幼児期からの運動習慣アップのための支援を推進した。

また、スポーツを通じて次代を担う青少年の健全育成を図るため、スポーツ少年団の育成・充実に取り組んだ。

- 4 スポーツ庁が制定した「スポーツ団体ガバナンスコード」を踏まえ、コンプライアンスの徹底やガバナンス強化等クリーンでフェアなスポーツの推進を加盟団体等とともに、新潟県のスポーツ・インテグリティを高め、併せてスポーツ文化の発展に取り組んだ。

5 「新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター」の指定管理者として、適切、かつ効果的な施設管理を行うとともに、競技水準の向上と健康づくり活動を推進した。

また、魅力ある施設として県民に認知されることで、施設の「賑わい」「活性化」を目指した。

A 公益事業

I 競技力向上対策事業の推進 224,917,708 円

本県の競技水準の維持・向上を図るため、県、加盟団体を始めとする関係機関・団体との緊密な連携・協力を目的とした諸会議を開催するとともに、各種強化事業を実施した。

1 競技水準向上対策運営業務 34,463,225 円

本県競技水準向上対策の方針について競技団体等関係者との共通理解を図るため諸会議を開催するとともに、本県からオリンピック選手の輩出を目指し、選手の指定を行うためオリンピック選手育成検討委員会を開催した。

また、全国・ブロック大会等に役職員を派遣し各県の情報収集に努めた。

会議名	期日	会場
国体実施競技団体理事長 ・強化総括責任者会議 第1回 第2回 第3回	令和元年 6月 22日 令和元年 11月 16日 新型コロナウイルス感染症の影響により中止	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター 新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター
第74回国民体育大会 監督会議・結団式	令和元年 9月 7日	新潟テルサ
オリンピック選手 育成検討委員会	令和元年 5月 9日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター

2 競技水準向上対策事業 157,439,565 円

(1) 新潟スーパージュニア養成事業

ア 新潟ジュニア育成事業 34,500,035 円

将来の国体での少年種別の競技力の向上と国内トップ選手の育成を図るため、ジュニア選手（小学生・中学生・高校生）を対象として計画的・継続的な強化合宿を実施した。（39 競技）

イ 育成指導者配置事業 40,937,412 円

競技力の向上を図るため、全国トップレベルの競技実績を有する育成指導者を市町村スポーツ・体育協会等に配置し、国体選手やジュニア選手に対して指導を行った。(8 競技 11 名)

(2) 強化事業

ア 国体強化事業 67,414,640 円

競技力の向上を図るため、国体選手及び次期候補選手の強化活動を支援した。(41 競技)

イ 強化スタッフ支援事業 5,520,478 円

国体選手や次期候補選手のスポーツ障害の予防・コンディションの調整・技術指導等を行うため、スポーツドクターやトレーナー、コーチ等を活動現場や国体へ派遣した。(36 競技)

ウ 社会人・企業スポーツ指定強化事業 2,300,000 円

社会人スポーツの振興を図るため、新潟県社会人スポーツ推進協議会においてその方策を協議するとともに、社会人・団体のクラブが行う強化活動を支援した。(企業スポーツ強化支援助成 9 企業・クラブチーム強化支援助成 5 クラブ)

エ 新潟県社会人スポーツ推進協議会の運営 583,000 円

幹事会・総会において、県内における社会人スポーツの推進と優秀な選手等の雇用を図るための方策を検討するとともに、会員企業への採用調査や競技団体への優秀選手就職希望調査等により、選手の定着を図った。

会議名	期日	会場
総会	令和元年 6 月 5 日	新潟グランドホテル
幹事会		
第 1 回	令和元年 6 月 5 日	新潟グランドホテル
第 2 回	令和元年 9 月 30 日	デンカビッグスワンスタジアム
第 3 回	新型コロナウイルス感染症防止のため中止	

オ トップコーチ等招へい事業 5,862,000 円

オリンピックや国内で活躍する選手の育成と指導者の資質向上を図るため、国内外のトップコーチを招へいし、指導を受けた。(9 競技)

(3) 特殊競技用具等整備補助事業 322,000 円

競技力の向上を図るため、競技団体において特に必要となる競技用具の整備に関し、購入費の一部を補助した。(1 団体)

3 オリンピックアスリート夢チャレンジ事業 31,514,918 円

(1) オリンピックアスリート活動支援事業 20,687,000 円

強化指定選手等の国内外の遠征等、強化活動に対して支援を行った。
(11 競技 55 名)

(2) 社会人スポーツ雇用支援事業 5,000,000 円

優秀な社会人選手や指導者が本県を拠点に活動できるよう、雇用を受け入れた企業に対して支援を行った。(4 団体 11 名)

(3) コーディネーター配置事業 5,827,918 円

優秀な選手や指導者が本県に定着し、地域社会で活躍できる仕組みづくりなどを行うためコーディネーターを配置した。

4 地域におけるトップアスリート育成プロジェクト支援事業

1,500,000 円

本県から東京オリンピックに出場・活躍できる選手を輩出するため、市町村スポーツ協会が主体的に取り組む事業に対して支援を行った。

(3 団体)

II 国民体育大会関連事業・業務の推進 4,439,596 円

国民体育大会への選手等の参加・派遣に関する業務を推進した。

< 第 74 回国民体育大会成績 >

大会名	男女総合成績		女子総合成績	
	得点	順位	得点	順位
冬季大会	138.0 点	9 位	58.5 点	12 位
本大会	688.5 点	40 位	398.5 点	45 位
合計	826.5 点	34 位	457.0 点	41 位
前回合計	792.5 点	37 位	439.0 点	41 位

< 第 75 回国民体育大会成績 >

大会名	男女総合成績		女子総合成績	
	得点	順位	得点	順位
冬季大会	149.5 点	7 位	50.0 点	15 位

1 国民体育大会への本県選手団派遣 4,297,116円

各季大会の新潟県選手団を編成し、下記大会に選手団を派遣した。

また、国体本部役員としてスポーツドクターを派遣し、現地における選手の競技活動を医科学面から支援するとともに、国体参加者の傷害事故を補償する制度の加入に努めた。

大会名	会期	開催地	派遣人数
第74回国体本大会	令和元年9月28日 ～10月8日	茨城県	512名
第75回国体冬季大会 スケート競技会・アイスホッケー競技会	令和2年1月29日 ～2月2日	青森県	28名
第75回国体冬季大会 スキー競技会	令和2年2月16日 ～19日	富山県	98名
第75回国体冬季大会 アイスホッケー競技会 北信越・東海ブロック予選会	令和元年 12月20日～22日	愛知県	29名
第75回国体冬季大会 フィギュア競技会予選会	令和元年 12月7日～8日	群馬県	4名
第40回北信越国民体育大会	令和元年 8月23日～25日	石川県	824名
合計			1,495名

2 国体ユニフォーム購入補助事業

国体県選手団が着用する選手団ユニフォームの購入費用を補助した。

3 アンチ・ドーピング教育・啓発活動の推進 142,480円

国体選手・指導者に対し、アンチ・ドーピングの教育・啓発活動の一環としてドーピングコントロール研修会を実施したほか、啓発リーフレットを作成し各競技団体、県内高等学校やスポーツドクター協会等に配布した。

事業名	期日	会場
アンチ・ドーピング 教育啓発研修会	令和元年9月7日	新潟テルサ

Ⅲ 新潟スポーツムーブメントの推進

1 新潟スポーツムーブメント推進事業 2,319,822 円

新潟県のスポーツ文化の発展を促すため、加盟団体等を対象としたコンプライアンスやハラスメント予防等に関するスポーツ・インテグリティ研修会を実施するとともに、スポーツ情報の提供、表彰の実施、スポーツ団体への支援、市町村スポーツ（体育）協会との連携強化を図った。

また、（公財）日本体育施設協会公認資格者を養成するなど、スポーツ環境の充実を図った。

事業名	期日	会場
市町村スポーツ（体育）協会連絡会議	平成 31 年 4 月 24 日	アートホテル新潟駅前
スポーツ・インテグリティ研修会 第 1 回	令和元 11 月 16 日（土）	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター
第 2 回	新型コロナウイルス感染症の影響により延期	
（公財）日本体育施設協会公認体育施設運営士養成講習会	令和元年 9 月 11 日 ～13 日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター

(1) スポーツ情報の収集発信の推進

本会ホームページを運営するとともに、本会の諸活動や加盟団体等の情報発信と公益法人としての情報公開に努めた。

(2) スポーツ功労者等の表彰

会議名	期日	会場
表彰選考委員会	令和元年 10 月 29 日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター

表彰名	氏名 (敬称略)	所属 / 推薦団体	表彰式 期日/会場
特別賞 2名	稲垣 啓太	パナソニックワイルドナイツ	令和元年 11 月 20 日 新潟東映ホテル
	国民体育大会 相撲競技 成年男子団体	新潟県相撲連盟	令和元年 12 月 15 日 やすね

スポーツ功労者賞 3名	田村 浩一 山岡 重雄 鈴木 力正	新潟県卓球連盟 (一財)新潟県ゲートボール連盟 新潟県ボウリング連盟	令和元年 12月1日 ホテル イタリア軒
優秀指導者賞 1名	横山 良	(公財)新潟県スキー連盟	
公認スポーツ指導者賞 2名	熊倉 偵春 小林 芳宏	(一財)新潟陸上競技協会 (一財)新潟県水泳連盟	
優秀競技者賞	79名	6団体	
奨励競技者賞	4名	1団体	

(3) スポーツ振興支援事業の実施

スポーツ団体が実施するスポーツ事業の開催を支援することで、本県におけるスポーツの普及・振興を図るため15団体に補助した。

2 日本スポーツマスターズへの参加

生涯スポーツのより一層の推進を目的に、スポーツ愛好者の中で、競技志向の高いシニア世代を対象とした総合スポーツ大会として岐阜県において開催された「日本スポーツマスターズ2019 ぎふ清流大会」(実施競技13競技)への参加業務等を実施した。

大会名	会期	開催地	参加者数
日本スポーツマスターズ2019大会	令和元年9月20日 ～24日(中心会期)	岐阜県	137名 (9競技)

IV 公認スポーツ指導者の養成 1,759,541円

1 公認スポーツ指導者講習会の開催

(公財)日本スポーツ協会公認指導員養成講習会専門科目を開催した。

なお、共通科目はコーチⅠを(公財)日本スポーツ協会が定める通信教育により受講し、コーチⅡは本会が集合講習により実施した。

<専門科目>

開催競技	期日	会場	参加者数
コーチⅠ 水泳(競技団体独自)	令和元年7月7日 ～10月27日	柏崎市中央地区コミュニティーセンター 他	25名
コーチⅠ なぎなた	令和元年11月2日 ～4日	柏崎市武道館	15名

コーチⅡ 空手道(競技団体独自)	令和元年 11月2日 ～24日	三条市下田体 育館 他	46名
---------------------	--------------------	----------------	-----

< 共通科目 >

期日	会場	参加者数
令和元年 12月15日 ～22日	新潟テルサ	44名

2 スポーツ指導者研修会の開催

(公財) 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者の更なる資質向上と活動促進及び指導者の連帯感を深め、組織的活用を図るため開催した。

研修会名	期日	会場	参加者数
新潟県スポーツ 指導者研修会	令和2年2月9日	新潟ユニゾン プラザ	369名

V 広域スポーツセンターの運営等 18,124,783円

「新潟県スポーツ推進プラン」(平成28年3月策定)に基づき、県民一人一人が日常生活の中にスポーツを取り入れる社会の実現を図るため、新潟県が本会内に設置した「新潟県広域スポーツセンター」の事業を推進した。

1 新潟県広域スポーツセンターの事業推進等 14,999,290円

事業推進拠点としての「新潟県広域スポーツセンター」の事業並びに新潟県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会、新潟県体育施設協会の事業及び運営、各種調査・統計資料作成などの関連業務を行った。また、クラブの安定化等に向け新潟県が策定した「新潟県総合型地域スポーツクラブの指針」の運用を図った。

(1) 総合型地域スポーツクラブの育成・支援

総合型地域スポーツクラブの創設・育成支援及び総合型クラブの質的向上と連携強化を図るための諸事業を実施した。

また、クラブアドバイザー1名を配置した。

ア 研修会等の開催

事業名	期日	会場	参加者数
総合型地域スポーツクラブ実務担当者研修会	平成31年4月26日	新潟県健康づくり・スポーツ 医科学センター	45名

新潟県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会研修会	令和元年 8 月 27 日 ～28 日	長岡市寺泊文化センターはまなす	74 名
地域スポーツクラブマネジメントセミナー	(長岡会場) 令和元年 11 月 21 日	長岡市さいわいプラザ	41 名
	(新潟会場) 令和元年 12 月 14 日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター	33 名

イ 総合型地域スポーツクラブ協働支援事業の実施

新潟県総合型地域スポーツクラブが行う地域の各分野・団体との連携・協働の取組を支援することにより新潟県総合型クラブを育成し、地域全体が主体的に連携・協働してスポーツを推進する基盤の整備を図ることを目的として、7クラブを指定のうえ、事業を実施した。(2年継続事業最終年次)

なお、暖冬少雪によるスキー場の営業中止及び新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた一部事業を中止した。

(2) スポーツと地域活性化の好循環創出事業の実施

県民がスポーツを通じて豊かな生活を送る社会の実現を目指すため、東京オリンピック・パラリンピックの開催によるスポーツに対する関心の高まりを背景に、スポーツの力と地域資源を活用した魅力ある地域づくり等への支援を通じ、スポーツによる地域活性化を推進するため、指定団体を公募の上、審査委員会において3団体(NPO法人ネージュスポーツクラブ、松之山スキー協会、南魚沼市)を選定し、令和元年10月3日に「連携促進会議」を開催のうえ、各指定団体において第1年次の事業を実施した。

なお、暖冬少雪によるスキー場の営業中止及び新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた一部事業を中止した。

指定団体	活動概要
NPO 法人ネージュスポーツクラブ	ユニバーサルスポーツを活用して、健康で、互いを認め、共に支えあい、それぞれの力が発揮できる、活力ある社会である「共生社会」づくりの実現を推進する。
松之山スキー協会	豪雪地帯の天然雪(JAPOW)の恵みを雪国松之山のアドバンテージとして活かし、地域プライドを醸成し、観光交流と関係交流(雪国留学等)による松之山ならではの地域産業・地域教育の活性化を目指す。併せてスキー競技者の育成にも力を入れる。

南魚沼市	自転車を活用した「まちづくりプロジェクト」。自転車を軸に、地域資源を活用して南魚沼の課題にみんなで挑戦する。スポーツの力で地域を元気にし、南魚沼に自転車文化を根付かせる。
------	---

(3) スポーツ情報の収集発信

新潟県広域スポーツセンターホームページの利便性向上を図り、様々なスポーツ情報の収集・発信を行った。また、「新潟県生涯スポーツの現状」などの統計資料を作成・公開した。

(4) その他関連業務の実施

国（スポーツ庁）の「体力・運動能力調査」「総合型地域スポーツクラブ活動状況調査」等を始め、新潟県体育施設協会事務局業務（総会・研修会開催、調査・名簿作成等）、ラジオ体操の普及などの事務を実施した。

2 幼児期からの運動習慣アップのための支援 3,124,783円

県内各地で誰もが幼児期に楽しく体を動かす「運動遊び」を経験でき、発達段階に応じた適切な援助を受けることができる環境の整備を図るため、公開保育形式によるモデル研修会及び、保育士、スポーツ指導者、行政担当者等による先進的な取り組みや好事例の共有を図る保育・スポーツ連携会議（普及啓発セミナー）を開催するとともに、次年度以降における地域専門人材養成に向けた調査研究（「保育現場における『運動遊び』の取組に関する実態調査実施報告書」等作成）を実施した。

また、事業の企画立案及び効果的な実施方法等について専門的な見地から適切な助言を得るため、大学関係者等によるアドバイザー会議を3回開催した。

（モデル研修会）

会場名	期日	会場	参加者数
刈羽会場	令和元年5月23日	村立かりわ保育園	31名
長岡会場	令和元年6月6日	長岡市浦体育館	84名
田上会場	令和元年6月20日	町立竹の友幼稚園	40名
上越会場	令和元年6月27日	市立なおえつ保育園	63名
妙高会場	令和元年10月17日	市立和田にじいろこども園	35名

阿賀野会場	令和元年 11 月 12 日	阿賀野市笹神体育館	51 名
-------	----------------	-----------	------

(保育・スポーツ連携会議／普及啓発セミナー)

妙高会場	令和元年 10 月 17 日	妙高市総合体育館	39 名
阿賀野会場	令和元年 11 月 12 日	阿賀野市ふれあい会館	43 名
長岡会場	令和元年 12 月 3 日	さいわいプラザ	62 名

VI 高等学校体育連盟への助成 355,722 円

(公財) 日本スポーツ協会国民スポーツ推進キャンペーンとして実施される「推進費付き自動販売機設置事業」の趣旨に賛同し、県内高等学校に設置した自動販売機の販売手数料を高等学校体育連盟へ助成金として交付した。

VII ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト拠点県合宿事業の実施

7,844,266 円

将来有望なアスリートの発掘・育成を行い、中央競技団体の育成・強化コースへ導くことを目的としたプロジェクトとして、(公財) 日本スポーツ協会から水泳(飛込)の拠点県として指定を受け、全国から選抜された5名の第2期生の合宿を4月から10月まで実施した。

(1) 実行委員会の開催

委員会名	期日	会場	参加者数
第1回実行委員会	令和元年 6 月 6 日	新潟県健康づくり・スポーツ医学センター	10 名
第2回実行委員会	令和元年 11 月 8 日	新潟県健康づくり・スポーツ医学センター	13 名

(2) 合宿の実施

合宿名	期日	会場	参加者数
第1回合宿	平成31年4月12日 ～14日	ダイエープロビス フェニックスプール	12名
第2回合宿	令和元年5月10日 ～12日	ダイエープロビス フェニックスプール	14名
第3回合宿	令和元年5月24日 ～26日	ダイエープロビス フェニックスプール	12名
第4回合宿	令和元年8月8日 ～10日	ダイエープロビス フェニックスプール	11名
第5回合宿	令和元年9月27日 ～29日	ダイエープロビス フェニックスプール	10名
第6回合宿	令和元年10月15日 ～20日	北海道立野幌総合 運動公園内プール	8名
第7回合宿	令和元年10月25日 ～27日	ダイエープロビス フェニックスプール	21名

Ⅷ スポーツ少年団の育成 15,180,310円

スポーツを通じて心身ともに健全な青少年を育成するため、日本スポーツ少年団等との連携により諸事業を実施するとともに、2020 東京オリンピック・パラリンピックに向けたスポーツ少年団としての取り組みを実施した。また、広くジュニアスポーツの振興を図るため、関係団体との連携を促進するとともに、「いじめ見逃しゼロ県民運動」にも取り組んだ。

1 新潟県スポーツ少年団の運営及びスポーツ少年団登録の促進

7,713,717円

(1) 新潟県スポーツ少年団の運営

ア 登録数の拡大促進

市町村スポーツ少年団の設置促進及び登録者（団員・指導者）の維持・増加を目指し、スポーツ少年団活動の充実を図った。

① 令和元年度市町村設置状況

29市町村（未設置：出雲崎町）

② 登録状況

区分	団数・人数	前年度比
単位団	614 団	△7 団
指導者及び役職員	3,418 名	△96 名
団員 (男女内訳)	11,806 名 男子 8,118 名 女子 3,688 名	△355 名 △339 名 △16 名

イ 広報・情報提供等の推進

「にいがたスポ少ニュースレター」（2万部）を発行するなど、広報と情報提供を推進した。

ウ 顕彰の実施

表彰名	表彰数等
新潟県スポーツ少年団顕彰 単位団 指導者	5 団 7 名
日本スポーツ少年団顕彰 市町村 指導者	燕市、新潟市 3 名

エ 諸会議の開催及び参加

新潟県スポーツ少年団の関連会議（総会、正・副本部長会議、表彰選考委員会、11 専門部会）を開催し、事務・事業の円滑な実施を図るとともに、日本スポーツ少年団の諸会議及び北信越ブロックスポーツ少年団連絡協議会理事会に参加した。

会議名	期日	会場
第 1 回総会	令和元年 6 月 3 日	デンカビッグスワンスタジアム
第 2 回総会	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	

2 事業の実施 7,466,593 円

(1) 広域（地域）活動の支援 158,248 円

中越及び下越の地区連絡協議会が実施する事業に助成し、各地区におけるスポーツ少年団活動の充実を図った。

なお、上越地区連絡協議会が予定していた事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。

(2) 第 39 回新潟県スポーツ少年団総合体育大会の開催 2,738,847 円

開催競技	会期	開催地	参加者数
剣道、卓球、バドミントン、柔道、空手道、軟式野球、サッカー、バレーボール、少林寺拳法、ミニバスケットボール	令和元年5月2日 ～12月8日	新潟市、長岡市、上越市、三条市、十日町市、村上市、胎内市、聖籠町	3,650名

(3) 北信越ブロック事業の開催又は参加 604,464 円

大会名	会期	開催地	参加者数
第 50 回北信越ブロックスポーツ少年大会	令和元年9月14日 ～16日	長野県	指導者1名 団員4名
第 39 回北信越ブロックスポーツ少年団競技別交流大会 (ミニバスケットボール卓球、サッカー)	令和元年8月3日 ～4日	富山県	各1チーム
同上 (バレーボール)	令和元年10月26日 ～27日	富山県	1チーム
第 41 回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会北信越大会	令和元年7月6日 ～7日	福井県	1チーム

(4) 全国スポーツ少年団交流大会等への派遣 700,524 円

大会名	会期	開催地	参加者数
第 57 回全国スポーツ少年大会	令和元年8月1日 ～4日	長崎県	指導者1名 団員10名
第 42 回全国スポーツ少年団剣道交流大会	令和2年3月27日 ～29日	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	

第 17 回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会	令和 2 年 3 月 27 日 ～30 日	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
---------------------------	--------------------------	----------------------

(5) 国際交流活動の実施 1,311,912 円

事業名	期間	派遣（受入）先	人数
第 46 回日独スポーツ少年団同時交流北信越事前研修会	令和元年 6 月 1 日 ～ 2 日	富山県	団員 3 名
	派遣 令和元年 7 月 31 日 ～ 8 月 17 日	ドイツ	団員 3 名
	受入 令和元年 8 月 2 日 ～ 6 日	聖籠町	指導者 1 名 団員 11 名

(6) 指導者の養成と資質向上の促進 1,035,363 円

事業名	期日	会場	参加者数
スタートコーチ（スポーツ少年団）インストラクター移行研修会	令和元年 10 月 19 日 ～11 月 16 日	北海道、宮城、東京、愛知、大阪、岡山、福岡	10 名
スタートコーチ（スポーツ少年団）インストラクター養成講習会	令和元年 11 月 23 日 ～24 日	東京都	本県からの参加者無し
スポーツリーダー養成講習会兼スポーツ少年団認定員養成講習会	令和元年 10 月 19 日 ～ 令和 2 年 2 月 2 日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター、長岡市さいわいプラザ	185 名
新潟県スポーツ少年団指導者研修会	令和元年 12 月 7 日	長岡市さいわいプラザ	103 名
北信越ブロックスポーツ少年団指導者研究協議会	令和元年 11 月 2 日	石川県	2 名
第 2 回ジュニアスポーツフォーラム	令和元年 6 月 16 日	東京都	2 名

幼児期からのアクティブ・チャイルド・プログラム普及講習会	(普及講習会) 令和元年10月22日	三条市栄体育館	65名
	(県普及促進研修会上越会場) 令和元年11月17日	上越教育プラザ	17名
	(県普及促進研修会村上会場) 令和元年11月30日	神林総合体育館	28名
	(講師講習会受講修了者ブラッシュアップセミナー) 令和元年7月7日	東京都	3名

(7) リーダーの育成 917,235円

事業名	期日	会場	参加者数
新潟県スポーツ少年団リーダー研修会	平成31年4月27日	長岡市市民体育館	9名
全国スポーツ少年団リーダー連絡会	令和元年6月15日 ～16日	東京都	1名
シニア・リーダースクール	令和元年8月8日 ～12日	静岡県	1名
ジュニア・リーダースクール	令和元年8月16日 ～18日	国立妙高青少年自然の家	11名
北信越ブロックスポーツ少年団リーダー研究大会	(研究大会) 令和元年10月26日 ～27日	国立妙高青少年自然の家	9名
	(事前会議) 令和元年9月7日 ～8日		3名

(8) 「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」の開催に向けた取組み

日本スポーツ少年団と連携して、フェアプレーの推進や全国一斉活動（清掃・美化活動等の社会貢献活動）などを推進した。

IX 新潟県健康づくり・スポーツ医科学センターの管理運営

179,564,409 円

指定管理者として本施設の機能を十分活用し、適切有効に管理運営するとともに、本県の競技水準の向上と県民の健康づくり活動の支援を行った。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた一部事業を中止した。

1 事業の実施

(1) 競技水準向上事業 70,864,502 円

競技者及び指導者等に医科学的な根拠に基づいた測定・分析・診療を示し活用することでトップアスリートの育成支援を行った。

ア 体力測定の実施

体力測定の意義・重要性について、県民や関係機関・団体への理解を深める働きかけを行い、利用促進に努めた。

イ 動作分析の実施

利用者それぞれのニーズに適したコース選択を促し、利用者拡充を目的に出張対応等を行い、これまで継続利用の個人・団体の利用促進と共に、小・中学ジュニア選手の新規利用の拡大を図った。

ウ 競技力向上相談の実施

体力測定や動作分析等の結果を基に、新たなトレーニング方法の導入や、トレーニング指導、栄養指導、スポーツ・メンタル等について専門職がサポートを行った。

エ スポーツ医科学サポート補助事業

国体候補選手及びジュニア選手等が実施する体力測定及び動作分析の測定料金の補助を行った。

内 容	利用者数
体力測定	762 名
動作分析	259 名
競技力向上相談	1,421 名
合 計	2,442 名
内スポーツ医科学サポート補助	988 名

(2) 診療所の運営 39,479,426 円

医療安全管理指針に基づいた安全・安心な医療と新潟大学大学院医歯学総合研究所及び県内医療機関との病診連携により診療を行った。

ア 内科

体力測定及び生活習慣しっかり改善コース、個別プログラムサービス受講者の医学検査を実施した。

イ 整形外科・リハビリテーション科

スポーツによる障害・外傷を対象とした外来診療と復帰に向けたリハビリテーションを実施した。

内 容		利用者数
内 科	体力測定医学検査	572 名
	健康づくり医学検査	228 名
	小計	800 名
整形外科外来診療		2,074 名
リハビリテーション外来診療		1,646 名
自主事業内科外来診療		269 名
合 計		4,789 名

(3) 健康づくり実践指導事業の実施 23,361,098 円

県内の健康づくり活動の普及を目的に、健康づくり実践指導事業（生活習慣しっかり改善コース・親子健康づくりプログラム）を実施した。

ア 生活習慣しっかり改善コースの実施

健康づくりのモデルコースとして実施し、有益なデータや取り組み事例を蓄積・発信した。

イ 親子健康づくりコースの実施

親子が絆を深めながら一緒に学べるモデルコースとして、健やかな生活習慣の基礎を確立できる「親子健康づくりプログラム」開発を目指し実施した。

ウ 健康づくり実践指導者研修（人材育成）の実施

改善コースと親子コースへのコース参加型と指導者ニーズ対応型の2つの研修実施により、健康づくり指導者の人材育成を図った。

エ 個別プログラムサービスの実施

健康の保持増進を目的に取り組みたい方を対象に、健康サポート個別コースとオプションメニューにより、健康づくり実践指導事業を補完し、継続的なフィットネスホール利用の促進を図った。

オ 健康づくりのための運動指導者研修会の開催

生活習慣病予防対策として運動習慣の普及・定着を推進するため、研修会を開催し、健康づくり指導者等の資質の向上を図った。

内容		参加者数
生活習慣しっかり改善コース		887名
親子健康づくりコース		94名
健康づくり実践指導者研修		696名
個別プログラムサービス		714名
健康づくりのための運動指導者研修会	室内運動指導者研修会	42名
	水中運動指導者研修会	26名
合計		2,459名

(4) 施設一般利用 35,488,545円

ア フィットネスホールの利用

フリーパス券の複数種類提供や、各種事業との連携、利用者ニーズの対応等により、長期的、継続的な利用を促進した。

イ 研修室等の利用

スタジアムとの連携等により、県民に対する当センター研修室等の認知度を高め、利用拡大を図った。

内容	利用者数
フィットネスホール	27,042名
研修室等	10,059名
トキめき広場	6,456名
合計	43,557名

(5) スポーツと健康づくりの情報発信 4,420,276円

県民の利用拡充を図るため、休憩コーナーの機能を維持しつつ、読書コーナー、ベビーコーナー等、利用者のニーズを踏まえた環境整備を随時行うとともに、ホームページ広報媒体等を活用し情報発信を行った。

また、年報、パンフレット、各種事業のスケジュール等を記載したチラシを作成した。

(6) 県民講座の開催 1,193,174 円

健康づくり及び競技スポーツに関する公開講座や運動教室、専門者向けの講習会等を開催し、県民の知識・技術の習得を促進し、センターの賑わい創出を図るイベントをスタジアム等と連携し随時企画開催した。

内 容	参加者数
一般講座	474 名
専門講座	48 名
にぎわいイベント	1,435 名
合計	1,957 名

B 収益事業 4,757,388 円

本施設の研修室等利用のうち公益目的に該当しない利用目的で貸出している研修室等について管理運営を行った。

内容	利用者数
研修室等	4,672 名

C 法人事業

1 県スポーツ協会の運営 16,392,230 円

スポーツの普及・振興、競技力向上等の推進にあたり、関連団体の業務や事務局業務を担いながら新潟県の総合的なスポーツ振興に取り組んだ。

<事務局を担っている関連団体>

- ・新潟県広域スポーツセンター
- ・新潟県スポーツ少年団
- ・新潟県社会人スポーツ推進協議会
- ・公益財団法人スポーツ安全協会新潟県支部
- ・新潟県体育施設協会
- ・新潟県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会

2 諸会議の開催

会議名	期日	会場
定時評議員会	令和元年6月26日	アートホテル新潟駅前
理事会 第1回	平成31年4月5日	デンカビッグスワンスタジアム
第2回	令和元年6月11日	ハードオフエコスタジアム新潟

第3回	令和 元年6月26日	アートホテル新潟駅前
第4回	令和 元年12月13日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター

なお、次の会議について新型コロナウイルス感染症の影響により、開催を中止し書面審議とした。

臨時評議員会 令和2年3月27日

第5回理事会 令和2年3月13日

3 加盟団体等との連携強化

加盟団体、県や市町村のスポーツ行政等その他関係機関との連携強化及び親睦交流を深めるため、諸事業を開催した。

事業名	期日	会場
市町村スポーツ (体育)協会連絡 会議)	平成31年4月24日	アートホテル新潟駅前
ゴルフ大会	令和元年7月25日	ヨネックスカントリークラブ
新年会	令和2年1月18日	ANAクラウンプラザホテル新潟